

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価

三瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し、保護者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます。
 ・計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。
 保護者アンケートは7月、12月の年2回です。
 ・保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果たし、改善への手掛かりを得ます。

令和6年度2学期末学校生活に関するアンケート結果 西予市立三瓶中学校

評価4：あてはまる 評価3：どちらかといえばあてはまる 評価2：どちらかといえばあてはまらない 評価1：あてはまらない

設問	質問内容	グラフ (保護者回答率91%)				%	評価4	評価3	評価2	評価1	2学期 肯定的	1学期 肯定的	評価・分析・改善策等
		教職員	生徒	保護者	保護者								
1	三瓶中学校の生徒は、学校で楽しく、充実した生活を送っている。					教職員	46%	54%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒については大半が肯定的であり、十分満足できる結果となっています。保護者も9割程度が肯定していますが、否定的な意見があることを考慮し、更に一人一人に寄り添った教育活動が展開できるようにしていきます。
		生徒	59%	38%	2%	1%	97%	97%					
		保護者	26%	63%	9%	2%	89%	90%					
2	三瓶中学校の生徒は、日々の授業の学習内容をだいたい理解できている。					教職員	9%	82%	9%	0%	91%	100%	・教職員、保護者の評価がやや下がっています。全体的に否定的な意見も多く、本校の課題と言えます。校内外の研修体制を整え、「分かる・伸びる・考える授業」の確立に向けて、教職員が学び続けていくことが求められます。
		生徒	25%	61%	14%	0%	86%	86%					
		保護者	4%	64%	29%	3%	68%	74%					
3	三瓶中学校の生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。					教職員	0%	73%	27%	0%	73%	75%	・教職員、生徒、保護者ともに肯定的な割合が8割に達しておらず、大きな課題と言えます。受け身ではなく、自ら進んで学習できる教育環境を整えていくことも必要です。授業内容の理解と共に継続して改善に取り組んでいきます。
		生徒	28%	50%	20%	2%	78%	85%					
		保護者	7%	65%	20%	8%	72%	77%					
4	三瓶中学校の教員は、それぞれの生徒のよいところを認め、言葉や態度で伝えている。					教職員	46%	54%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒、保護者の8割以上が肯定していますが、まだ十分満足できる結果ではありません。誰一人取り残すことなく、一人一人に応じた支援をしていくことを再確認し、よりよい学校環境を整えていきます。
		生徒	38%	53%	8%	1%	91%	93%					
		保護者	16%	65%	15%	4%	81%	82%					
5	三瓶中学校の生徒は、校則やスマホなどの学校のルールを守っている。					教職員	9%	82%	9%	0%	91%	75%	・生徒の肯定率は100%で、教職員、保護者の肯定的割合も1学期と比較すると増加しています。生徒の自己評価との差はありますが、一定の成果が見られました。今後も学校と家庭が連携しながら、指導を継続していきます。
		生徒	78%	22%	0%	0%	100%	100%					
		保護者	14%	69%	12%	5%	83%	74%					
6	三瓶中学校の生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。					教職員	18%	73%	9%	0%	91%	83%	・教職員、生徒は肯定的割合が9割以上ですが、保護者は8割に達していません。いじめや差別は絶対に許されないものであることを全教育活動を通して指導していく必要があります。保護者の声もしっかりと聞いていきます。
		生徒	72%	23%	2%	3%	95%	95%					
		保護者	19%	56%	17%	8%	75%	75%					
7	三瓶中学校の生徒は、あいさつの習慣が身に付いている。					教職員	9%	91%	0%	0%	100%	92%	・教職員、生徒、保護者の8割以上が肯定しており、よい状態と言えます。地域の方からも、よくあいさつをしているとの声も聞かれます。これまでの取組を継続しながら、よりあいさつのできる学校を目指していきます。
		生徒	28%	55%	16%	1%	83%	82%					
		保護者	26%	64%	8%	2%	90%	84%					
8	三瓶中学校の教員は、教え方を工夫し、わかりやすく教えている。					教職員	36%	64%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒はほぼ100%であり十分満足できる評価ですが、保護者の評価は十分ではありません。設問2と関連が大きく、一人一人の生徒としっかりと関わりながら授業を進めていく必要があります。
		生徒	45%	54%	0%	1%	99%	92%					
		保護者	12%	64%	22%	2%	76%	81%					
9	三瓶中学校の教員は、いけないことはいけないと指導している。					教職員	64%	36%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒、保護者ともに肯定的な割合が高く、満足できる結果と言えます。ただ、否定的な意見があることを見逃すことなく、状況をしっかりと見極めながら、毅然とした態度で指導を行っていきます。
		生徒	67%	28%	2%	3%	95%	93%					
		保護者	26%	63%	9%	2%	89%	86%					
10	三瓶中学校は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。					教職員	55%	45%	0%	0%	100%	92%	・教職員、生徒、保護者ともに1学期よりも肯定的な割合が高くなっています。対応が十分ではないと考えている保護者も一定数いることを念頭に置き、保護者の意見に耳を傾け、納得感を得ながらトラブルに対応していきます。
		生徒	63%	30%	3%	4%	93%	91%					
		保護者	17%	64%	16%	3%	81%	76%					
11	三瓶中学校の部活動は、充実している。					教職員	18%	73%	9%	0%	91%	84%	・教職員、生徒は8割以上が肯定していますが、保護者は4割以上が否定的であり、大きな課題と言えます。地域移行（地域展開）を見据え、保護者や地域の方と対話を重ねよりよい方向を見付けていきます。
		生徒	55%	34%	8%	3%	89%	89%					
		保護者	12%	44%	28%	16%	56%	59%					
12	三瓶中学校は、学校の様子や教育方針を家庭への連絡（通信、ホームページ、電話連絡、家庭訪問など）によってわかりやすく伝えている。					教職員	82%	18%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒、保護者ともに肯定的な割合が9割を超えており、十分満足できる結果となっています。各種通信やHPを通して学校の情報を発信することができました。今後も更に分かりやすい情報発信を心掛けていきます。
		生徒	74%	22%	3%	1%	96%	99%					
		保護者	40%	53%	7%	0%	93%	89%					

学校教育目標『心豊かで、生き生きと活動する生徒を育てる』を実現するために、一人一人の生徒に寄り添いながら、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を目指し、日々取り組んできました。令和4年度より学校生活に関するアンケートをオンライン上で行っており、保護者からの回答率も高くなっており、今回の回答率は91%でした。御協力ありがとうございました。

学校評価は、実施するだけでなく、改善への手掛かりを今後を生かしていくことが重要だと考えています。今回の学校評価では、「自ら進んで学習に取り組む態度」や「学習内容の理解」において課題が見られました。これらの課題を解決していくためのキーワードは「主体性」にあると考えます。生徒が主体的に学習に取り組み、自ら考え、行動できる教育環境を整えていくことが求められます。何事も「まずはやってみる」ことから始まります。様々なことに挑戦しながら、学校教育目標の実現に向けて努力を続けていきたいと思っております。